

2017年11月30日

京成電鉄株式会社

「さらなるお客様サービスの向上」を目指して  
**車内案内表示を多彩な情報提供が可能な  
 液晶ディスプレイタイプに変更します**

京成電鉄(本社：千葉県市川市、社長：小林 敏也)では、お客様サービス向上を図るため3000形、及び3700形車両の車内案内表示器をLEDタイプから液晶ディスプレイ(LCD)タイプに変更します。

3000形については17インチLCDに改修し、12月1日(金)より順次営業運転を開始します。また、3700形については19.2インチLCDに改修し、既に10月13日(金)より営業運転を開始しております。

改修後は、よりわかりやすく停車駅等のご案内が可能になるほか、多言語(日本語・英語・中国語・韓国語)でのご案内が可能となり、訪日外国人のお客様の利便性も向上します。2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックを見据え、2019年度中に工事を完了する予定で、3000形、3700形の全編成が液晶ディスプレイとなります。

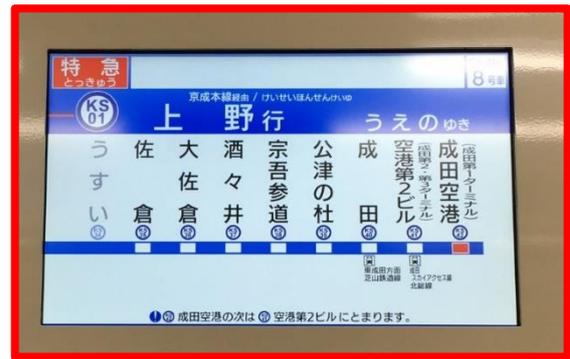
記

1. 対象車両      3000形 (25編成152両)  
                     3700形 (14編成108両)
2. 導入時期      3000形：12月 1日(金)より  
                     3700形：10月13日(金)より

3000形



【3000形外観】



【改修前(LEDタイプ)】



【改修後(LCDタイプ)】

## 3700形



【3700形外観】



【改修前（LEDタイプ）】



【改修後（LCDタイプ）】

以上